

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月24日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 赤穂市加里屋字加藤974番地

氏名 塩崎成治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0791-43-5888

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社日本海水赤穂工場	
事業場の所在地	赤穂市加里屋字加藤974番地	
計画期間	平成25年4月1日～平成26年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	1624 塩製造業	
②事業の規模	製造品出荷額等 約58億円/年	
③従業員数	186名(契約社員76名含む)	平成26年6月現在
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 製品ロスによる廃棄物の抑制及び、社外利用の促進。 有効利用先の開拓及び利用方法の検討している	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 製品ロスによる廃棄物の抑制及び、社外利用の促進。 有効利用先の開拓及び利用方法の検討継続的に推進する	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の保管場所を汚泥、廃プラ、紙くず、木くず、金属くずにわけ 分別保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各部署から排出される廃棄物を指定された場所に分別保管するよう 推進していく

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 特になし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 石膏汚泥について有効利用を推進してきた	

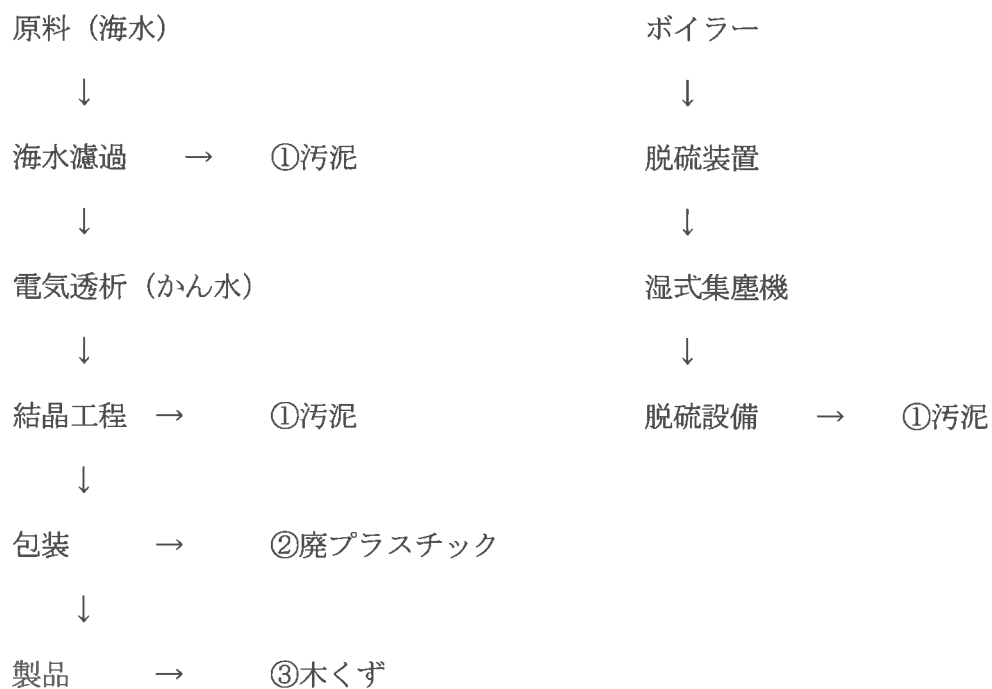
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 石膏汚泥について有効利用を継続的に推進していく		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



工場全体として④金属くず、⑤ガラス・陶磁器くずが排出される

① 汚泥

収集運搬（委託：横山サポートテック）→路盤材再生（委託：セーフティーアイランド）

② 廃プラスチック類

収集運搬（委託：横山サポートテック）→破碎（委託：住友セメント）

→燃料又はその原（材）料

③ 木くず

収集運搬（委託：横山サポートテック）→破碎（委託：横山サポートテック）

→燃料又はその原（材）料

④ 金属くず

収集運搬（委託：横山サポートテック）→破碎（委託：揖保川金属）

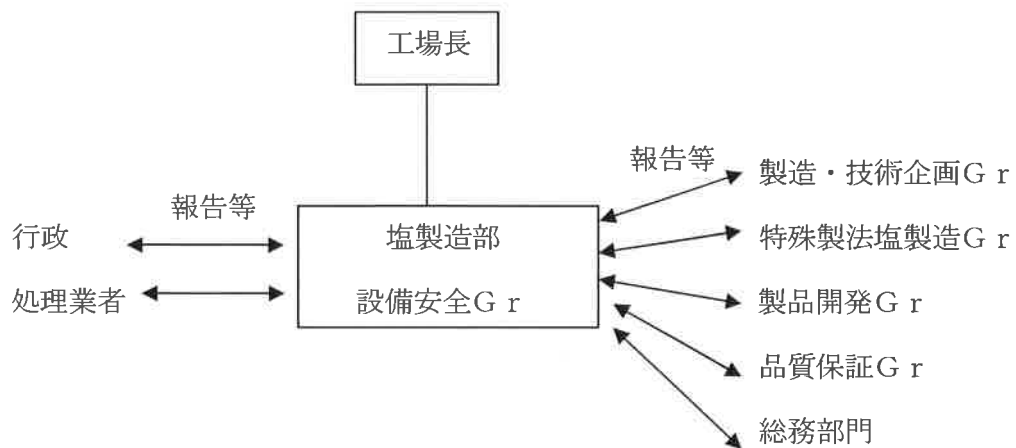
→鉄鋼原（材）料

⑤ ガラス・陶磁器くず

収集運搬（委託：横山サポートテック）→埋立（委託：ウエス産業）

産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項

(管理体制図)



※ 分担

塩製造部（担当：設備安全Gr 産業廃棄物担当）

- ・ 工場内の総合的な廃棄物減量計画の立案
- ・ 工場内の廃棄物処理計画等の策定、廃棄物の管理、行政への報告
- ・ 処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引き渡し、適正処理の確認
製造技術企画Gr、特殊製法塩製造Gr、製品開発Gr、品質保証Gr、総務部門
- ・ 部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・ 各部署内スタッフへの分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
排出量	1558 t	120 t	18 t	69 t	1 t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
排出量	1300 t	100 t	10 t	50 t	1 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○ 現状 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
自ら埋立処分又は海洋投入を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現場 前年度（平成25年度）実績

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
全処理委託量	1 5 8 8 t	1 2 0 t	1 8 t	6 9 t	1 t
優良認定処理業者への処理委託量					
再生利用業者への処理委託量	8 7 7 t	9 5 t	1 8 t	6 9 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス、陶磁器等
全処理委託量	1300 t	100 t	10 t	50 t	1 t
優良認定処理業者への処理委託量					
再生利用業者への処理委託量	1300 t	80 t	10 t	50 t	0 t
認定熱回収業者への処理委託量					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					